平成３１（令和元）年度第１回 地域連携推進機構運営会議
議事要旨

日　時: 平成３１年４月２５日（木）　１０：３０～１２：１４
場　所: 大学本部棟４階　第一会議室
出席者: 牛窪　潔（機構長）、竹村　明洋（副機構長 兼 産学官連携部門長）、背戸 博史（地域連携企画室長 兼 生涯学習推進部門長）、玉城 理（産学官連携部門 准教授）、柴田 聡史（生涯学習推進部門 准教授）、小島 肇（地域連携企画室 特命准教授）、畑中 寛（地域連携企画室 特命准教授）、瀬名波 出（産学官連携部門 教授(併任)）、眞榮平 孝裕（産学官連携部門 教授(併任)）、新田 早苗（総合企画戦略部長）、金城 徹（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者: 島袋 亮道（地域連携企画室 特命准教授）
陪席者: 大城 光雄（課長代理(併)企画係長）、赤嶺 雅哉（地域連携推進係長）、與儀 あゆみ（産学連携推進係長）、金城 まなみ（企画係主任）、田頭 明子（地域連携推進係主任）、照喜名 佑悟（企画係員）、宮平 知佳子（地域連携推進係員）、天願 翔太（産学連携推進係員）

※審議に先立ち、３月１８日開催の平成３０年度第１５回運営会議の議事要旨案について確認があり、了承された。

＜審議事項＞
議長から、次の１０件の事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり、各担当から説明の上、審議を行った。

１．委託非常勤講師の委嘱について
竹村部門長から、資料（審議１）に基づき委嘱について説明があった。
審議の結果、原案どおり委嘱を行うことが了承された。

２．地域協働プロジェクト推進経費について
背戸室長から、資料（審議２）に基づき、２０１９年度の継続事業の選考について説明があった。
審議の結果、提案のとおり、拡大企画室会議で継続事業候補を４件選定することが了承された。

３．２０１９年度学長特別政策経費重点施策推進枠事業について
背戸室長から、資料（審議３）に基づき、企画室から提案する２０１９年度学長特別政策経費重点施策推進枠事業への申請３件について説明があった。
主な意見は以下のとおり。

・「地域資源」という言葉には「技術」が含まれていないように見受けられがちである。工学部等の持つ技術も含まれるような表現にしてはどうか。（瀬名波教授）

・スタートアップ支援事業に 10,000 千円は高いという印象を受ける。他事業とのバランスも考慮するべきではないか。（瀬名波教授）
・共同研究については、研究推進機構との調整も必要ではないか。（新田総合企画戦略部長）

審議の結果、企画室において、提案事業を再度調整することとなった。

４．地域連携支援体制構築強化経費について
背戸室長から、資料（審議４）に基づき、説明があった。
審議の結果、原案どおり了承された。

５．ギャップ資金の学内公募について
竹村部門長から、資料（審議５）に基づき説明があった。
審議の結果、原案どおり了承された。

６．地域志向活動トライアル経費による正課科目における地域志向取組の学内公募について
背戸室長から、資料（審議６）に基づき、説明があり、引き続き、小島特命准教授から補足説明があった。
審議の結果、原案どおり了承された。

７．地域連携推進機構が実施する公開講座の企画について
背戸室長から、資料（審議７）に基づき、説明があった。
審議の結果、原案どおり了承された。

８．追加の公開講座・公開授業について
背戸室長から、資料（審議８）に基づき、説明があった。
審議の結果、原案どおり了承された。

９．平成３０年度プロジェクトシートについて
各室・部門長から資料（審議９）に基づき、説明があった。
主な意見は以下のとおり。

・２０１９年度は４年終了評価に向けての大事な年度にあたる。もう一度、記載や評価を精査の上、自己・点検評価委員会を開催したい。（牛窪機構長）

審議の結果、適宜修正を加えることで了承された。

１０．戦略的重点配分経費を活用した取組の成果報告書について
背戸室長から、資料（審議１０）に基づき、説明があった。
審議の結果、原案どおり了承された。

＜報告事項＞

議長から、次の３つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため、各担当から報告を行うよう発言があった。

１．各室･部門の当面の活動予定（主要事項）について

各室・部門から、資料（報告１）に基づきそれぞれ報告があった。

２．平成３０年度機能強化経費（アクティブシンクタンク）の執行報告について

背戸室長及び大城課長代理から、資料（報告２）に基づき報告があった。

３．平成３０年度 ICT 機器を活用した遠隔授業による教育効果等検証委員会報告書について

背戸室長から、机上配付資料に基づき報告があった。